

流通とSC・私の視点

2020年6月7日

視点(2349)

日本のSCの実態(2019年度)(その1)!!

(SC理論編)

— SC白書2020(日本SC協会発行)より —

①SCの実態

総SC数	3,209 施設	前年の2018年末より11施設減少
総売上高(推)	31兆9,694億円	1SC当たり99.6億円
総店舗面積	5,365万㎡	1SC当たり16,719㎡
総テナント数	163,437店舗	1SC当たり50.9店舗

②SCの総数の変化

	2016年	2017年	2018年	2019年
SC数	3,211	3,217	3,220	3,209
増減数	※プラス「16」	プラス「6」	プラス「3」	マイナス「11」

2019年度に初めてSC数がマイナス「11」となりました。その内訳は次の通りです。

新規オープン	46施設	結果 「11施設減」 となった	ただし、店舗面積は「46万㎡の増加」、 テナント数は「1,477店の増加」です。
閉鎖SC	45施設		
リニューアルによりSCの 基準を満たさなくなったSC	30施設		
既存の施設がSCの 基準を満たしたSC	18施設		

③SCの売上高

総売上高	31兆9,694億円	前年より既存SCのマイナス6,901億円(※△2.1%)			
他 業 界 と の 比 較		2019年度	2001年比	2011年比	※印は年度が 異なる
	S C	31,969,400 <small>百万円</small>	120%	117%	
	チェーンストア	12,432,474	78	101	
	百貨店	5,754,715	67	91	
	コンビニエンスストア	12,184,143	178	150	
	小売業販売額	145,047,000	107	106	
	外食市場規模	25,769,200(※)	100(※)	113(※)	
	EC市場規模	17,984,500(※)	520(※)	213	

④SCの経済条件

<徴収方法別経済条件>

	賃料・共益費				売上対比の賃料・共益費				
	個別徴収			総合賃料	個別徴収			総合賃料	
	賃料	共益費	賃料+共益費		賃料	共益費	賃料+共益費		
物販	14,913 <small>円</small>	3,058 <small>円</small>	17,971 <small>円</small>	30,795 <small>円</small>	物販	10.1%	2.2%	12.3%	11.9%
飲食	20,834 <small>円</small>		23,892 <small>円</small>	31,732 <small>円</small>	飲食	10.5%		12.7%	12.5%
サービス	9,744 <small>円</small>		12,802 <small>円</small>	13,232 <small>円</small>	サービス	—		—	—

⑤経済条件(賃料・共益費)の推移

個別徴収	物販	2000年	2018年	2000年を100とした比率
	飲食	28,421円	17,971円	63.2%
	サービス	27,240円	23,892円	87.7%
総合徴収	サービス	19,756円	12,802円	64.8%
	物販	2009年	2018年	2009年を100とした比率
	飲食	40,014円	30,795円	77.0%
	サービス	27,757円	31,732円	114.3%
		15,850円	13,232円	83.5%

(流通とSC・私の視点 2350へ続く)

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六車秀之